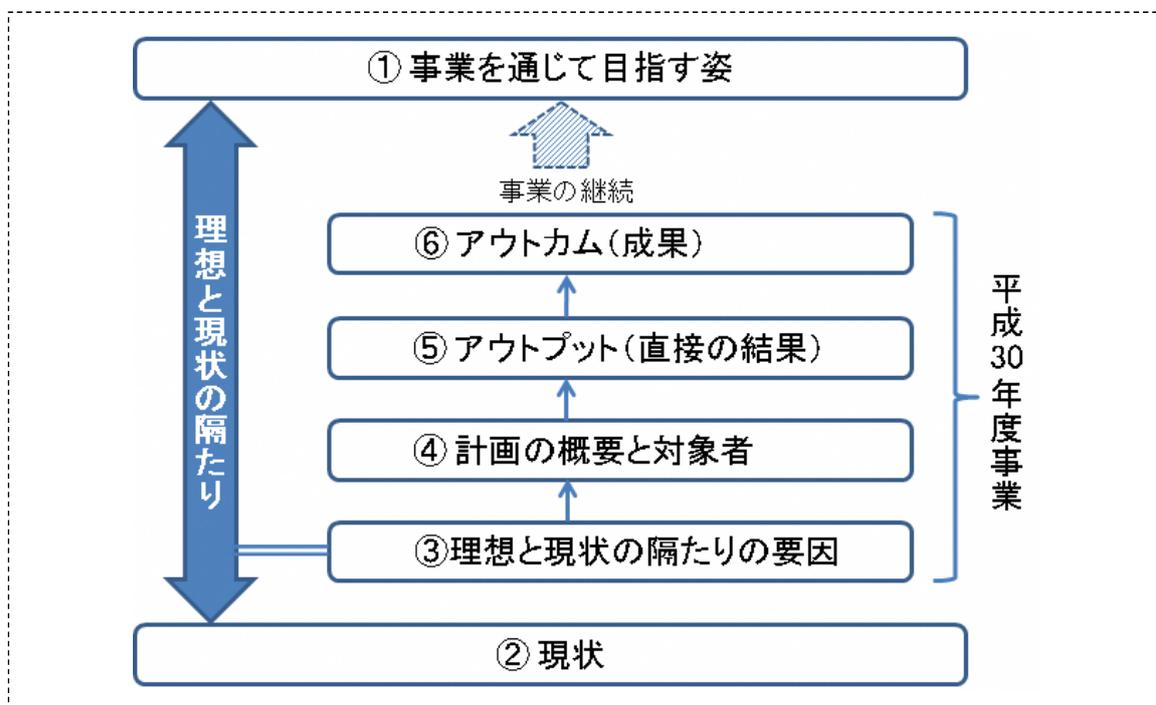


事業計画書

事業名	障がい者・障がい児の「働きたい」を応援する事業～注文をまちがえるレストラン～
団体名	特定非営利活動法人まこと

記入する項目の関係図

次の図は、この事業計画書の各項目の関係を示したものです。以下、この図を意識しながら、各項目に記入する内容を検討してください。



1 目指す姿

事業を通じて目指す姿や、事業を実施する目的はどのようなものですか。「地域や社会、人のどんな問題を解決し、どのような状態にしたいのか」を具体的に記入してください。

障がい者の「働きたい」という思いをかなえ、障がい児の「働くってどんなこと？」を実現するための活動を目的とする。

「失敗は成功のもと」「笑う門には福来たる」という日本の素晴らしいことわざをスローガンに、失敗を恐れず挑戦し、失敗しても笑顔で許しちゃう社会を目指す。

障がいのある人と地域の人々が関わり、障がいに対する認識を変え、理解を深めることで社会参加や働くことが当たり前になれる社会にしたい。

2 現状

上記 1 の目指す姿と比べて、現在はどのような状況にありますか。

障がい者と関わり、理解を深める機会が少ないため、障がい者をどのように受け入れて良いかが分かりにくく、福祉の場から一歩社会に出ると、まちがいを受け入れることを前提として、障がい者が働くことを学ぶ場所が少ない現状である。

3 目指す姿と現状の隔たりの要因

上記 1 と 2 の隔たりを生み出している主な原因はどのようなものと考えますか。

障がい者を受け入れる地域の資源や人材が不足していることが要因であり、障がい者に対する理解の低さが一層社会参加を閉ざすことになっていると考える。

4 計画の概要と対象者（平成 30 年度）

上記 3 で挙げた要因を取り除くため、どのような人を対象に、どのような活動を実施しますか。150 字以内で簡潔にまとめてください（計画の詳細は下記 7 に記入してください）。

障がい者・障がい児の「働きたい」という思いを支援するために、「注文を間違えても間違いを受け入れてむしろ笑顔で許しちゃう」がコンセプトの『注文をまちがえるレストラン』を年 2 回、合計 4 日間実施する。

アウトプット（直接の結果）とアウトカム（成果）について

アウトプットとは 事業の直接の結果であり，事業を通じて，どれだけの人に対し，どのようなサービスが提供されたかをいいます。

アウトカムとは 事業の成果であり，アウトプットが地域や社会，人にもたらす変化や効果をいいます。事業はこのアウトカムを生み出せるように計画します。

アウトプットとアウトカムの関係

事業を実施すると，まず， というアウトプットが生じ，次にその成果として， というアウトカムが生じる関係にあります。

事業実施 アウトプット アウトカム

アウトプットとアウトカムの例

事業名	活動	アウトプット	アウトカム
学習支援事業	学習会の開催	月 4 回，各回 20 名参加	参加者の学習意欲の向上
就労支援事業	冊子作成・配布	1 千冊作成，800 人に配布	就労に必要な知識の習得
保護者支援事業	居場所の運営	週 2 回，各回 15 名参加	育児の負担感の緩和
移動支援事業	高齢者の送迎	週 2 回，各回 5 名利用	移動手段の選択肢の増加

5 アウトプット（直接の結果）

平成 30 年度の事業を通じて，どれだけの人に対し，どのようなサービスを提供しますか。

- ・倉敷美観地区「宵待ちガーデン 星のヒカリ」にて、15 歳～22 歳の障がい者（支援学校の生徒・卒業生を含む）をスタッフとしたレストランの開催。
- ・倉敷茶屋町「つくぼ片山家」にて 15 歳～64 歳の幅広い年齢の障がい者をスタッフとしたレストランの開催。

アウトプットを測る指標と数値目標を記入してください。

指標	現状の数値	事業実施後の数値目標
・星のヒカリ 参加障がい者	0 人	12 人（6 人×2 日）
お客様	0 人	90 人（45 人×2 日）
・つくぼ片山家 参加障がい者	0 人	24 人（12 人×2 日）
お客様	0 人	90 人（45 人×2 日）

事業実施後の数値目標は，どのような方法で測りますか。

各取り組みを実施するごとに、利用者の数を数える。

6 アウトカム（成果）

上記 5 のアウトプットが、平成 30 年度中に、地域や社会、人にもたらす変化や効果はどのようなものですか。

・活動が認知されることで障がい者が働くことに対する理解者が増え、新たにこのような活動に取り組みたいという企業や、地域団体、また活動の場を提供してくれる経営者が現れることを期待する。

7 計画の詳細

(1) 具体的な内容

内容、対象者、実施期間、実施場所、ねらいなど、できるだけ明確に記入してください。

「注文をまちがえるレストラン」の開催

○倉敷美観地区「宵待ちガーデン 星のヒカリ」にて

- ・平成 30 年 6 月の 2 日間 ... 事前予約制。当日券あり。
- ・11:00~12:30、13:00~14:30 の 2 部制
- ・パスタランチ 3 種（選べるパスタ、サラダ、フォカッチャ、デザート、ドリンク）950 円
- ・15 歳~22 歳の知的障がい者（支援学校の生徒・卒業生を含む）が席へのご案内、注文、配膳、お会計までの仕事を行う。
- ・提供する食事は「星のヒカリ」のシェフ、スタッフが担当する。
- ・美観地区で開催することにより、地域の方はもちろんのこと、他県からの観光客や外国人の方にも知っていただくことで活動の輪が広がることが期待できる。

○倉敷市茶屋町「つくぼ片山家」にて

- ・平成 30 年 10 月の 2 日間、10:30~15:00 開催 ...事前予約制、当日券あり。
- ・能舞台で食べるお食事（選べるごはん、煮物、具だくさん汁）500 円、
- ・庭園を眺めながらの喫茶ブースでは、選べるデザートセットドリンク付き 300 円、
- ・お茶室では、抹茶・和菓子セットを 300 円で提供する。
- ・15 歳~64 歳の身体・知的・精神・発達障がい者が食券の販売から、席へのご案内、配膳までの仕事を行う。
- ・提供する食事・デザートは、倉敷市の就労継続支援事業所製造のものを使用する。
- ・展示ブースを設け、倉敷市で活動する就労継続支援事業所に作品を展示してもらう。
- ・大型古民家を利用することにより、多様な仕事を体験することができ、地域住民をまきこみ定期的な開催が期待できる。

(2) スケジュール (準備～実施～報告)

4月	「星のヒカリ」、関係機関打ち合わせ、準備
5月	チラシ配布、宣伝、予約受付
6月	「星のヒカリ」にて開催
7月	ふり返り
8月	「つくぼ片山家」打ち合わせ
9月	チラシ配布、宣伝、予約受付
10月	「つくぼ片山家」にて開催
11月	ふり返り、活動実績報告

(3) 実施体制

上記(1)の計画を実施するにあたり、実際に取り組む団体会員を記入してください。また、人件費を支払う予定の団体会員には、人件費欄に「有」を記入してください。

氏名	事業に有効な資格や経験	人件費
水川 順子	就労継続支援事業従事者(管理者)	なし
山本 忠義	相談支援専門員、サービス管理責任者(就労・知的・精神)	なし
山田 弓美	就労継続支援事業従事者(管理者)	なし
井上 千津子	社会福祉士、介護福祉士、精神保健福祉士 就労継続支援事業従事者(サービス管理責任者)	なし
片木 薫	介護福祉士、就労継続支援事業従事者(サービス管理責任者)	なし
小河原 真知子	日中一時支援事業従事者(管理者)	なし
10名を超える場合は、外 名としてください		外()名

8 受益者負担 事業の財源確保のため、可能な限り参加費や受講料などを徴収してください。

(1) 徴収する(見込み: ランチ・デザートセット・抹茶セット代)

(2) 徴収しない(理由: _____)

収支予算書（合計）

1 収入の部

科目	内訳	金額(円) ²	積算根拠
受益者負担		0	
会費からの繰入		25,000	
その他	ランチ代等預り	123,000	
市補助金		222,000	
収入合計		370,000	(支出合計と一致)

2 支出の部

科目	内訳	金額(円) ²	積算根拠
人件費(会員) ¹		0	
交通費(会員) ¹		5,000	820 円 × 5 日
人件費(アルバイト等)		0	
謝金(講師等)		0	
旅費交通費(講師等)		0	
消耗品費	用紙	2,000	A4 : 300 円 × 4 冊
	バインダー	2,000	108 円 × 12 個
	エプロン・三角巾	58,000	2,400 円 × 24 組
	クリーニング代	4,000	
印刷製本費		0	
通信運搬費		0	
保険料	行事保険	20,000	
使用料・賃借料	会場費	56,000	25,000 円 × 2 日、2,000 円 × 3 日
外注費・委託費	チラシ外注	100,000	デザイン・印刷
対象経費計		247,000	
食糧費			
人件費		0	
その他	ランチ代等支払い	123,000	
対象外経費計		123,000	
支出合計		370,000	(収入合計と一致)

1 : 会員に支払う人件費と交通費の合算額は、対象経費計の 1 割を上限とする。

2 : 金額欄は切り上げて千円単位で記入してください。